

○報告書インスタンス作成ガイドライン 新旧対照表

第四版	第三版
<p>4-2 報告書インスタンスのファイル名 (略)</p> <p>4-2-1 表紙ファイル (略)</p> <p style="text-align: center;">図表 4-2-1 表紙ファイルの命名規約</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center;">表紙ファイルの命名規約</p> <p>0000000_header.jp {府令略号} {様式番号} - {報告書略号} - {報告書連番(3桁)}_ {EDINETコード又はファンドコード} - {追番(3桁)}_ {報告対象期間期末日 報告義務発生日}_ {報告書提出回数(2桁)}_ {報告書提出日}_ixbrl.htm</p> <p>※表紙ファイル名は、先頭の7桁数値と6文字が「0000000_header」と決まっています。 ※{追番3桁}は「000」から開始し、複数の報告書インスタンスファイルとなる場合(例:シリーズファンド)、1ずつ増加します。 ※{報告書提出回数(2桁)}は、初回提出時は「01」を指定し、提出回数に合わせて1ずつ増加します。 ※「<u>報告対象期間期末日 報告義務発生日</u>」について、「報告対象期間期末日」又は「報告義務発生日」のない提出書類、自己株券買付状況報告書及び臨時報告書は、「報告書提出日」を指定してください。 ※各項目の詳細は、『提出者別タクソノミ作成ガイドライン』を参照してください。また、指定する値の詳細は、『添付4 各種命名規約の略号、連番及び追番一覧』を参照してください。</p> </div> <p>(略)</p> <p>4-2-2 本文ファイル (略)</p> <p style="text-align: center;">図表 4-2-3 本文ファイルの命名規約</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center;">本文ファイルの命名規約</p> <p>{7桁数値}_ {英字(6文字)}_jp {府令略号} {様式番号} - {報告書略号} - {報告書連番(3桁)}_ {EDINETコード又はファンドコード} - {追番(3桁)}_ {報告対象期間期末日 報告義務発生日}_ {報告書提出回数(2桁)}_ {報告書提出日}_ixbrl.htm</p> <p>※{追番3桁}は「000」から開始し、複数の報告書インスタンスファイルとなる場合(例:シリーズファンド)、1ずつ増加します。 ※{報告書提出回数(2桁)}は、初回提出時は「01」を指定し、提出回数に合わせて1ずつ増加します。 ※「<u>報告対象期間期末日 報告義務発生日</u>」について、「報告対象期間期末日」又は「報告義務発生日」のない提出書類、自己株券買付状況報告書及び臨時報告書は、「報告書提出日」を指定してください。 ※{7桁数値}と{英字(6文字)}については、本章中の「ファイル名の先頭(7桁数値と6文字)の考え方」を参照してください。 ※各項目の詳細は、『提出者別タクソノミ作成ガイドライン』を参照してください。また、指定する値の詳細は、『添付4 各種命名規約の略号、連番及び追番一覧』を参照してください。</p> </div>	<p>4-2 報告書インスタンスのファイル名 (略)</p> <p>4-2-1 表紙ファイル (略)</p> <p style="text-align: center;">図表 4-2-1 表紙ファイルの命名規約</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center;">表紙ファイルの命名規約</p> <p>0000000_header.jp {府令略号} {様式番号} - {報告書略号} - {報告書連番(3桁)}_ {EDINETコード又はファンドコード} - {追番(3桁)}_ {報告対象期間期末日 報告義務発生日}_ {報告書提出回数(2桁)}_ {報告書提出日}_ixbrl.htm</p> <p>※表紙ファイル名は、先頭の7桁数値と6文字が「0000000_header」と決まっています。 ※{追番3桁}は「000」から開始し、複数の報告書インスタンスファイルとなる場合(例:シリーズファンド)、1ずつ増加します。 ※{報告書提出回数(2桁)}は、初回提出時は「01」を指定し、提出回数に合わせて1ずつ増加します。 ※各項目の詳細は、『提出者別タクソノミ作成ガイドライン』を参照してください。また、指定する値の詳細は、『添付4 各種命名規約の略号、連番及び追番一覧』を参照してください。</p> </div> <p>(略)</p> <p>4-2-2 本文ファイル (略)</p> <p style="text-align: center;">図表 4-2-3 本文ファイルの命名規約</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center;">本文ファイルの命名規約</p> <p>{7桁数値}_ {英字(6文字)}_jp {府令略号} {様式番号} - {報告書略号} - {報告書連番(3桁)}_ {EDINETコード又はファンドコード} - {追番(3桁)}_ {報告対象期間期末日 報告義務発生日}_ {報告書提出回数(2桁)}_ {報告書提出日}_ixbrl.htm</p> <p>※{追番3桁}は「000」から開始し、複数の報告書インスタンスファイルとなる場合(例:シリーズファンド)、1ずつ増加します。 ※{報告書提出回数(2桁)}は、初回提出時は「01」を指定し、提出回数に合わせて1ずつ増加します。 ※{7桁数値}と{英字(6文字)}については、本章中の「ファイル名の先頭(7桁数値と6文字)の考え方」を参照してください。 ※各項目の詳細は、『提出者別タクソノミ作成ガイドライン』を参照してください。また、指定する値の詳細は、『添付4 各種命名規約の略号、連番及び追番一覧』を参照してください。</p> </div>

(略)

4-2-4 XBRL インスタンスファイル

(略)

図表 4-2-12 XBRL インスタンスファイルの命名規約

XBRLインスタンスファイルの命名規約

報告書

jp {府令略号} {様式番号} - {報告書略号} - {報告書連番 (3桁)} _ {EDINETコード又はファンドコード} - {追番 (3桁)} _ {報告対象期間期末日|報告義務発生日} _ {報告書提出回数 (2桁)} _ {報告書提出日} .xbrl

独立監査人の報告書

jpaud- {監査報告書略号} - {当期又は前期の別} {連結又は個別の別} - {報告書連番 (3桁)} _ {EDINETコード又はファンドコード} - {追番 (3桁)} _ {報告対象期間期末日} _ {報告書提出回数 (2桁)} _ {報告書提出日} .xbrl

※「報告対象期間期末日|報告義務発生日」について、「報告対象期間期末日」又は「報告義務発生日」のない提出書類、自己株券買付状況報告書及び臨時報告書は、「報告書提出日」を指定してください。

4-3 利用可能な文字コードと文字

(略)

上記の文字コードセット一覧に含まれない文字は、Unicode による数値文字参照を使用することができます。『提出書類ファイル仕様書』に記載されている文字コードセット一覧に含まれる文字は、Unicode による数値文字参照を使用せず、そのまま使用してください。なお、Unicode による数値文字参照で記載した場合、EDINET で PDF ファイルを自動作成する際に、文字化けを起す可能性があります。

(略)

4-2-4 XBRL インスタンスファイル

(略)

図表 4-2-12 XBRL インスタンスファイルの命名規約

XBRLインスタンスファイルの命名規約

報告書

jp {府令略号} {様式番号} - {報告書略号} - {報告書連番 (3桁)} _ {EDINETコード又はファンドコード} - {追番 (3桁)} _ {報告対象期間期末日|報告義務発生日} _ {報告書提出回数 (2桁)} _ {報告書提出日} .xbrl

監査報告書

jpaud- {監査報告書略号} - {当期又は前期の別} {連結又は個別の別} - {報告書連番 (3桁)} _ {EDINETコード又はファンドコード} - {追番 (3桁)} _ {報告対象期間期末日} _ {報告書提出回数 (2桁)} _ {報告書提出日} .xbrl

4-3 利用可能な文字コードと文字

(略)

(追加)

4-3-1 実体参照の入力

(略)

なお、次の図表にある4種類の文字実体参照はインラインXBRLファイル内で指定できますが、これら以外の文字実体参照(、¢、£等、HTMLで指定可能な文字実体参照)は、インラインXBRLファイル内で指定できません。次の図表に記載の文字以外の文字は、数値文字参照を使用して表します。例えば、空白を表す「 」をインラインXBRLファイル内で使用する場合は、数値文字参照の代替文字「 」を指定し入力できます。

図表 4-3-2 インラインXBRLファイル内に文字実体参照で入力できる文字の一覧

No	入力文字	代替文字
1	<	<
2	>	>
3	&	&
4	”	"

5-6 インラインXBRLファイルの作成

5-6-3 数値以外の値を表現する要素

(略)

データ型と escape 属性の指定

(略)

2) 表を含む記載事項、箇条書等、レイアウトに意味を付けたタグ付けを含む内容は、textBlockItemType を使用し、escape 属性の値に「true」を指定します。
※textBlockItemType と stringItemType との使い分けについての詳細は、『提出者別タクソノミ作成ガイドライン 5章 スキーマファイルの作成 5-2 要素の定義 5-2-1 要素の命名規約と属性値 5-2-1-3 データ型(type)』を参照してください。

5-6-7 DEI の設定

5-6-7-3 第2四半期報告書に中間連結財務諸表及び中間財務諸表を記載する場合

4-3-1 実体参照の入力

(略)

なお、次の図表にある5種類の文字実体参照はインラインXBRLファイルのix:タグ内で指定できますが、これら以外の文字実体参照(、¢、£等、HTMLで指定可能な文字実体参照)は、ix:タグ内で指定できません。次の図表に記載の文字以外の文字は、数値文字参照を使用して表します。例えば、空白を表す「 」をix:タグ内で使用する場合は、数値文字参照の代替文字「 」を指定し入力できます。

図表 4-3-2 ix:タグ内に文字実体参照で入力できる文字の一覧

No	入力文字	代替文字
1	<	<
2	>	>
3	&	&
4	”	"

5-6 インラインXBRLファイルの作成

5-6-3 数値以外の値を表現する要素

(略)

データ型と escape 属性の指定

(略)

2) 表を含む記載事項、箇条書等、レイアウトに意味を付けたタグ付けを含む内容は、textBlockItemType を使用し、escape 属性の値に「true」を指定します。
(追加)

5-6-7 DEI の設定

(追加)

6-2 マニフェストファイルの設定

6-2-3 使用する要素と構成

6-2-3-3 マニフェストファイルに定義する内容

図表 6-2-5 マニフェストファイルに定義する内容

(略)

- ※1: 目次の差し込み位置の指定は、シリーズファンドで複数のファンドの財務諸表を作成する場合又は独立監査人の報告書を複数作成する場合に限ります。
- ※2: 提出書類に含まれる報告書インスタンスの数だけ指定します(シリーズファンド又は独立監査人の報告書で複数の報告書インスタンスとなる場合は、その数だけ指定します。)
- ※3: 「報告書インスタンスの ID」の「連番」には、1から始まる連番を付与します。連番は、シリーズファンド又は独立監査人の報告書で複数の報告書インスタンスとなる場合にのみ付与します。

注意 目次の差し込み位置を指定する際の注意点

目次の差し込み位置を指定する際に、次のことに注意してください。

<代表となる様式ツリーの目次項目と差し込む様式ツリーの目次項目が同一の場合>

当該目次項目同士は親子関係ではなく、統合された一つの要素とみなします。
そのため、代表となる様式ツリーの目次項目及び差し込む様式ツリーの目次項目のそれぞれの子項目が、兄弟関係として同一階層に並ぶこととなります。

<代表となる様式ツリーの目次項目と差し込む様式ツリーの目次項目が異なる場合>

差し込む様式ツリーの目次項目は代表となる様式ツリーの目次項目の子要素とみなします。

<代表となる様式ツリーの目次項目及び差し込む様式ツリーの目次項目にそれぞれ子項目が存在する場合>

子項目同士の順序は、代表となる様式ツリーの子項目が優先されます。

6-2 マニフェストファイルの設定

6-2-3 使用する要素と構成

6-2-3-3 マニフェストファイルに定義する内容

図表 6-2-5 マニフェストファイルに定義する内容

(略)

- ※1: 目次の差し込み位置の指定は、シリーズファンドで提出書類が複数の報告書インスタンスで構成される場合に限ります。
- ※2: 提出書類に含まれる報告書インスタンスの数だけ指定します(シリーズファンドで複数の報告書インスタンスとなる場合は、その数だけ指定します。)
- ※3: 「報告書インスタンスの ID」の「連番」には、1から始まる連番を付与します。連番は、シリーズファンドで複数の報告書インスタンスとなる場合にのみ付与します。

(追加)


6-2-3-4 マニフェストファイルで使用する要素

図表 6-2-6 マニフェストファイルで使用する要素の一覧

要素名	説明	属性	
		属性名	属性値(括弧内は説明)
manifest	マニフェストのルート要素	xmlns	URI(名前空間URI) ※目次の差し込み位置を指定する場合は、利用する目次要素が定義された語彙スキーマの名前空間 URI を指定します。
tocComposition	一つの文書の目次設定	なし	なし
title	文書タイトル(マニフェストファイルの配下にあるファイルにより構成される文書の名称。例えば、「提出本文書」、「独立監査人の報告書」)	xml:lang	ja(タイトルの文字属性が日本語の場合)
			en(タイトルの文字属性が英語の場合)
item	目次項目	ref	値(様式ツリーが対応する報告書インスタンスのID) ※item 要素から ref 属性で参照されます。
		extrole	様式ツリーの拡張リンクロール
		in	presentation(目次項目が定義されているリンクベースファイルの種別) ※ref 属性と一緒に利用します。
		start	代表となる提出者別タクソノミの様式ツリーに目次を差し込む際に、差し込みの開始位置となる目次項目の要素名を指定します。 ※(削除)
		end(削除)	(削除)

6-2-3-4 マニフェストファイルで使用する要素

図表 6-2-6 マニフェストファイルで使用する要素の一覧

要素名	説明	属性	
		属性名	属性値(括弧内は説明)
manifest	マニフェストのルート要素	xmlns	URI(名前空間URI) ※シリーズファンドの目次の差し込み位置を指定する場合は、利用する目次要素が定義された語彙スキーマの名前空間 URI を指定します。
tocComposition	一つの文書の目次設定	なし	なし
title	文書タイトル(マニフェストファイルの配下にあるファイルにより構成される文書の名称。例えば、「提出本文書」、「独立監査人の報告書」)	xml:lang	ja(タイトルの文字属性が日本語の場合)
			en(タイトルの文字属性が英語の場合)
item	目次項目	ref	値(様式ツリーが対応する報告書インスタンスのID) ※item 要素から ref 属性で参照されます。
		extrole	様式ツリーの拡張リンクロール
		in	presentation(目次項目が定義されているリンクベースファイルの種別) ※ref 属性と一緒に利用します。
		start	代表となる提出者別タクソノミの様式ツリーに目次を差し込む際に、差し込みの開始位置となる目次項目の要素名を指定します。 ※主にシリーズファンドにおいて「ファンドの経理の状況」を指定します。
		end	代表となる提出者別タクソノミの様式ツリーに目次を差し込む際に、差し込みの終了位置となる目次項目の要素名を指定します。 ※終了位置を指定しない場合は、extrole 属性に指定した拡張リンクロールに設定されている全ての目次項目が代表となる提出者別タクソノミの様式ツリーに差し込まれます。 end属性の設定は必須ではありません。  参照 「図表 6-2-7 start属性及びend属性の指定」

insert	目次項目の差し込み(複数の報告書インスタンスの目次項目を差し込む場合) ※子要素として「item」要素を設定し差し込む目次項目の値を指定します。	parent	<u>差し込み先となる代表となる様式ツリーの目次項目の要素名</u>
--------	---	--------	------------------------------------

(略)

6-2-4 マニフェストファイルを作成する際の注意事項

(内容は『報告書インスタンス作成ガイドライン』を参照してください。)

insert	目次項目の差し込み(複数の報告書インスタンスの目次項目を差し込む場合) ※子要素として「item」要素を設定し差し込む目次項目の値を指定します。	parent	<u>差し込みする内容の親要素名</u>
--------	---	--------	----------------------

(略)

(追加)